

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会的課題に取り組んでいる団体、組織を訪れてフィールドスタディを実施することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会的課題について他者に自らの意見を伝える事ができる 自分が関心のある社会的課題について調べ、その解決方法を考案することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体性をもって、粘り強く学習課題に取り組もうとしている。 社会課題を自分事とし、社会に参画・貢献する姿勢を持とうとしている。 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題の内容について、自分の言葉で説明することができる 社会課題に取り組んでいる団体や組織を訪れてフィールドワークを実施することができる データや資料を適切に使って、効果的なプレゼンテーションを行うことができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分が関心のある社会課題について、他者に自らの意見を伝えることができる 自分が関心のある社会課題について調べ、その解決方法を提示することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 数ある社会的課題の中から、自分自身がより理解を深め、課題解決をしたいと思うことができるものをみつけようとしている 社会課題と向き合う中で、その課題を学ぶことが自分自身の人生においてどのような意味を持つのか関連付けようとしている 社会的課題に向き合う中で、社会的・文化的・歴史的な構造と人為との関係について考察しようとしている 	

授業日	10/9(水)	2学期授業回数	6回目 / 全11回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①③ 【思考力・判断力・表現力】① 【学びに向かう力・人間性】① <本時の具体的な目標> 書籍や論文を1つ以上選び、その内容を簡潔に要約することができる。		
時間 授業内容	0	今日の流れ ①情報収集のポイント : 11月・12月に予定されているフィールドワーク・インタビュー等を見据えて進めていく。 1. 説得力のある論文や資料、文献を集める 2. 集めた論文や資料、文献の要約を「事実・データ」に記入し、参考文献一覧に書誌情報を記録する ※ [注意] 入手した論文などから自分で考えたかのように書き写すと、盗作や剽窃となる 3. 論文や資料が説得的かどうか判断がつかない場合、Google Scholarを使って検索する ※ →被引用数が多い資料は、他への影響力が大きく、評価が高いと言える ②情報カードの記入の仕方 操作方法の説明 ③参考文献の記入の仕方 共有スライドのメモを参考に	
	10分	グループワーク (情報の収集 ⇄ 情報カードへのメモ) リサーチクエスチョンに対して先行研究で既に明らかになっていることを徹底的に調べる。(テキスト P140)	
	40	情報カードに十分記録できたら各班で終了	
評価方法	論文データベースを利用し、先行研究を調べることができる		
宿題指示	論文データベース等を利用し、共有スライド「情報カード」に記録する		

